MOBILE SUIT
RX-93-ν2

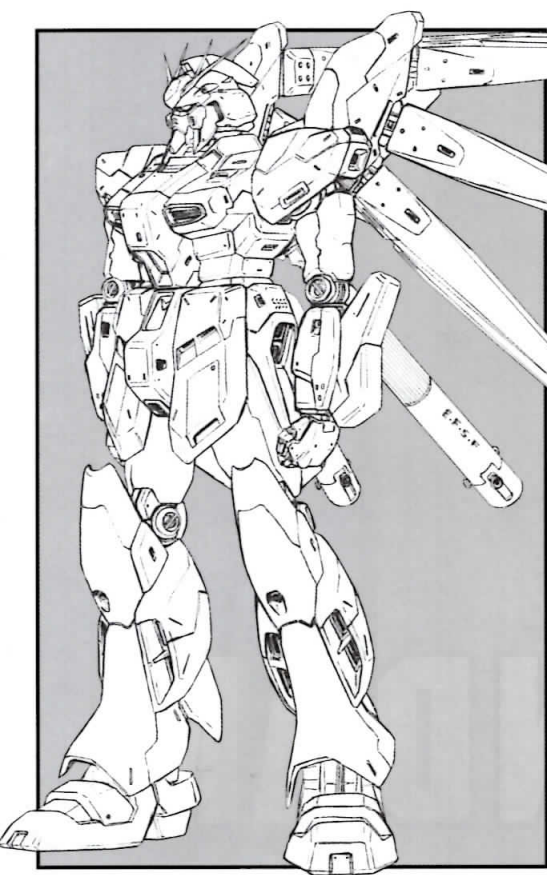
Hi-ν GUNDAM

E.F.S.F. AMURO RAY'S
CUSTOMIZE MOBILE SUIT
FOR NEW TYPE

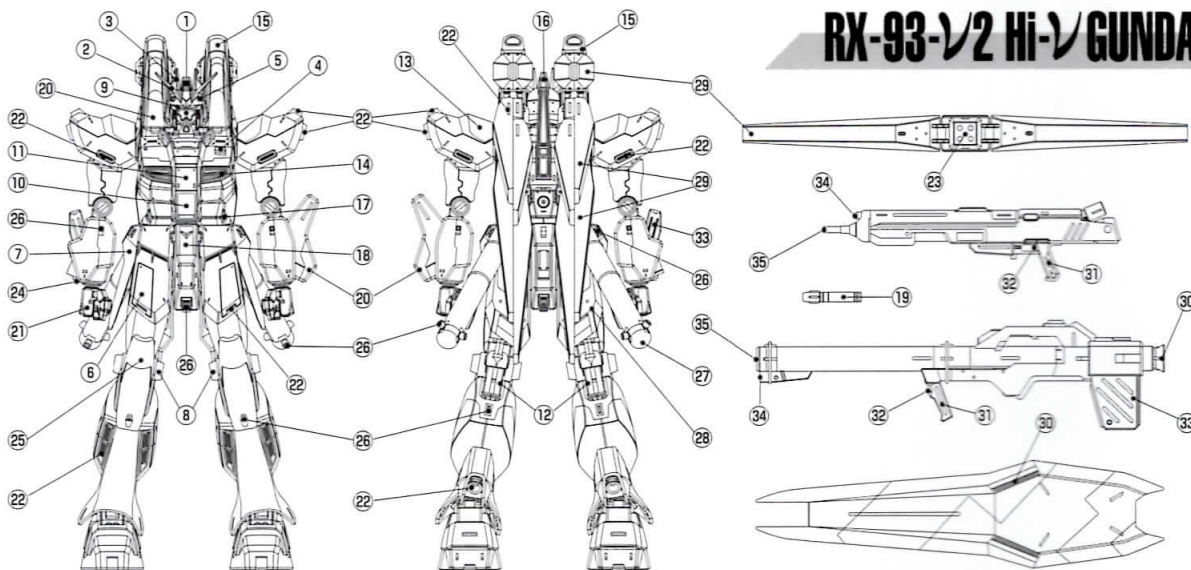
地球連邦軍
ニュータイプ専用モビルスーツ
RX-93-ν2「Hi-ニューガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

0148832

RX-93-ν2 Hi-ν GUNDAM

Conceptual illustration : Yutaka Izubuchi

U.C.0092年末。五隻の艦艇を引き連れたシャアは、突如としてサイド5外縁のスペース・コロニーのひとつ「スウィー・ウィドー」に侵攻した。彼が総帥として君臨する新生ネオ・ジオンは、立て続けに難民収容コロニーとして改装されていたスウィート・ウォーターを占拠。その主権を認めなければ、連邦政府の本拠地であるチベットのラサを直接攻撃すると宣言した。同年12月25日。連邦軍の外郭団体だったロンド・ベルは、「シャアの反乱」に対処する実戦部隊として再編・増強された。しかし、部隊そのものの戦力が不足している上に、連邦軍の上層部は、NT（ニュータイプ）と目されるパイロットがガンダム系のMSを使う事を嫌っており、かつてのガンダム系のMSを、さながら核兵器のように秘匿していた。

そして、U.C.0093年2月。実戦経験が豊富なことを買われたブライト・ノア大佐がロンド・ベルに指揮官として赴任する。RX-93-ν2 Hi-ν(ハイ・ニュー) ガンダムは、元々地球連邦軍が月のフォン・ブラウン市近郊のAE（アナハイム・エレクトロニクス）社に開発させていた新型MSで、ブライトが赴任の手土産としてロンド・ベルに廻すように手配したものであった。メイン・パイロット兼エンジニアでもあるアムロ・レイ大尉は、その機体に自分の設計したサイコミュを搭載させた上で、ロンド・ベルの制式採用機とした。基礎設計は歴代の"ガンダムタイプ" の平均値にアップデートを施したもので、複雑化、巨大化していた当時のMSの傾向に逆行するかのような意匠を持つ。最大の特徴は、攻防一体のオールレンジ兵器"フィン・ファンネル"を装備する『ガンダムタイプ初のフルスペックNT専用機』という点である。 当初、この機体のサイコミュ・システムはあくまで"ファンネル"をコントロールするためのものであったが、ネオ・ジオンのMSサイコ・ドーガの鹵獲により入手したサイコ・フレームを組み込むことにより、機体の傾向が一変することとなった。サイコ・フレームは、サイコミュの機能を持つチップを金属分子レベルで鋳込んだもので、コクピット周辺に配置することで脳波コントロールのレスポンスが向上する反面、パイロットの意思を拘束する傾向があった。アムロはそれを「搭乗者の意識を前に前に突進させるような強制力がある」と評している。サイコ・フレームを据え付ける作業はアムロにとってはナンセンスな作業であったものの、アムロ自身が自分のNT能力に懐疑的であったため、せめてファンネルのコントロールだけでも確実なものにしたいと考えて強行したものである。ただし、状況からしてネオ・ジオンから意図的にもたらされたものであることは疑いようが無かった。しかし、それによってロンド・ベルが、ようやくネオ・ジオンに対抗できるレベルに拡充されたことも事実であった。かくしてHi-νガンダムはロンド・ベルのフラッグシップMSとして運用されることとなったのである。Hi-νガンダムは、実質3ヶ月という短期間で完成した。これは、ムーバブル・フレーム技術の成熟と、エンジニアの不眠不休の努力の賜物であり、また、アムロ自身のMSに対する深い造詣によるものであった。その意匠は連邦系MSの原点に立ち帰るようにベーシックでありながら、非常に先鋭的でセンシティブな側面も持っている。ある意味で、非常に危ういバランスの上に成立していた機体でもあったのである。

①メインカメラ	⑧ニージョイント	⑮ファンネルラック	㉒サブスラスター	㉙フィン・ファンネル
②通信用ブレードアンテナ	⑨デュアルセンサー	⑯スタビレーター	㉓メインスラスター	㉚ダクト
③マルチセンサー	⑩コクピットハッチ	⑰コネクター	㉔マシンガン	㉛グリップ
④サブセンサー	⑪メンテナンスハッチ	⑱ラジエーションユニット	㉕ニーアーマー	㉜トリガー
⑤60mmバルカン	⑫パワーサプライヤー	⑲ビーム・サーベル	㉖マイクロスラスター	㉝マガジン
⑥フロントアーマー	⑬ショルダーアーマー	⑳サーベルラック	㉗プロペラント/スラスターユニット	㉞ナロウセンサー
⑦サイドアーマー	⑭ダクト／インテーク	㉑マニピュレーター	㉘リアアーマー	㉟マズル

注）この機体は、月面のAE（アナハイム・エレクトロニクス）社、フォン・ブラウン工場でU.C.0093年3月初旬にロールアウトし、ラー・カイラムにおいてフィン・ファンネルの実装とサイコ・フレーム換装に伴う最終調整を行った直後の状態のものです。

組み立て前の基本説明

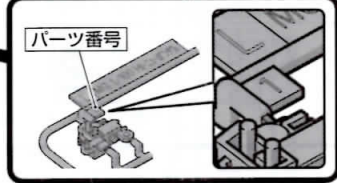
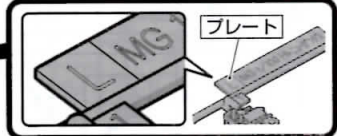
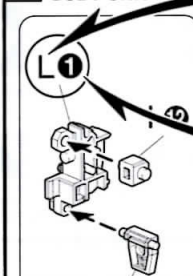
必要な道具

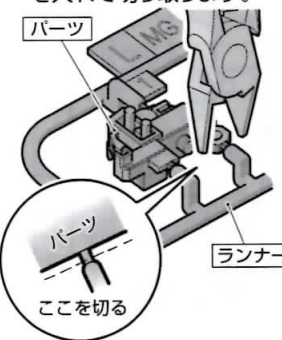
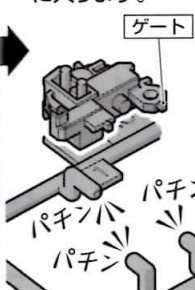
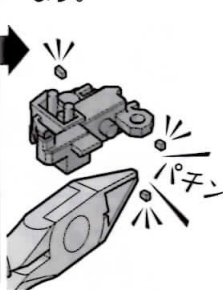
〈ニッパー（プラスチック用）〉
・パーツをランナーから切りはなしてゲートを取るのに使います。

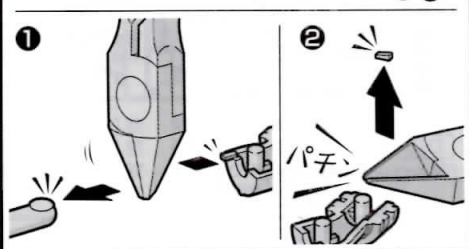
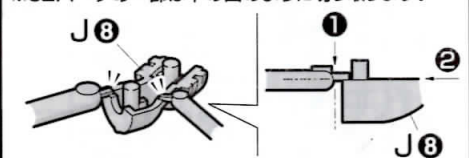
〈ピンセット〉
・小さい部品を取り付けたりシールを貼るのに便利。

※この商品に道具類は入っていませんので、別にご用意ください。

説明書の見かた。

説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。（パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。）

パーツの切り取りかた。

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。

アンダーゲートの切り取りかた。

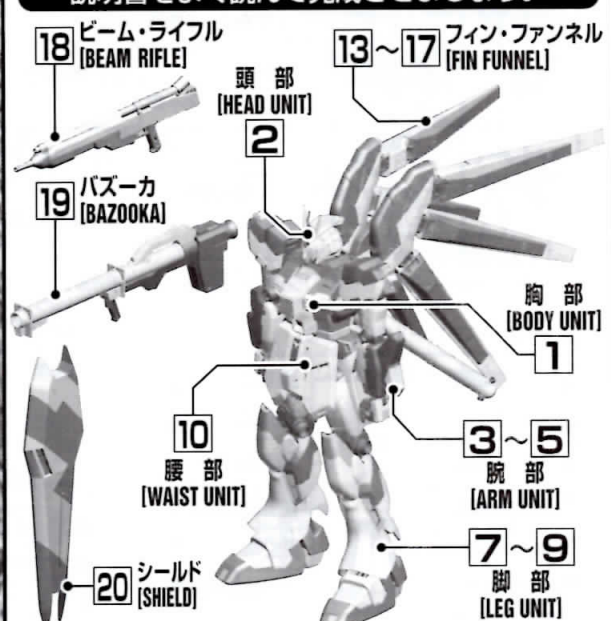
※J2パーツの一部は下の図のように切り取ります。

ガンダムデカールの貼りかた。

❶ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

❷保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

❸シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう。

⚠ 注 意

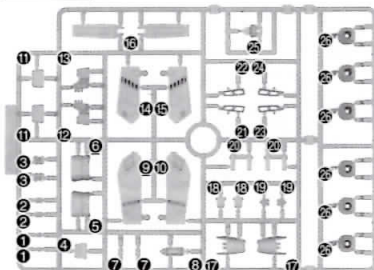
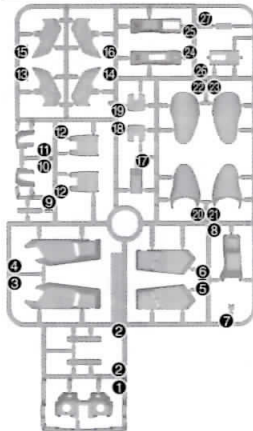
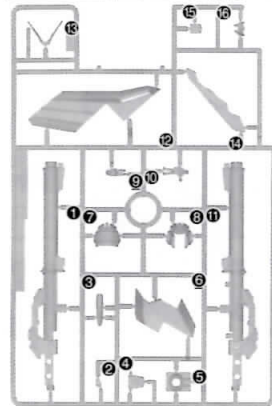
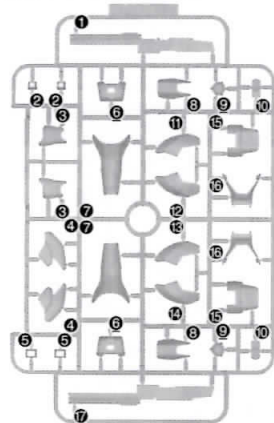
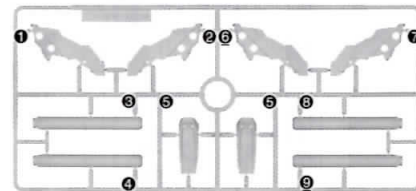
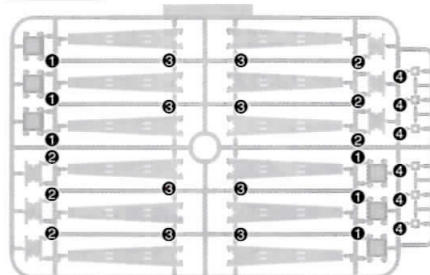
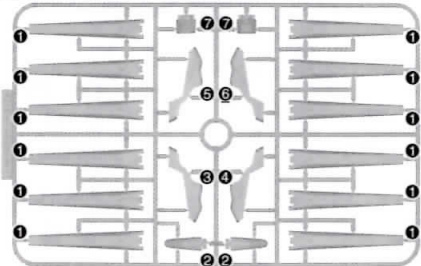
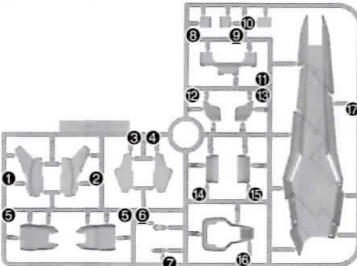
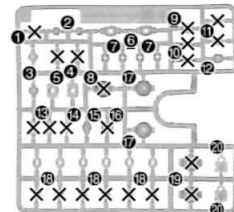
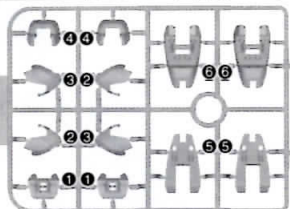
必ずお読みください

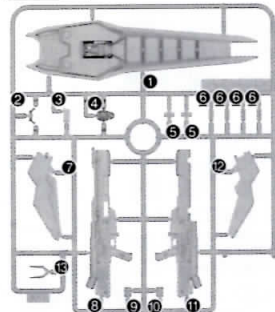
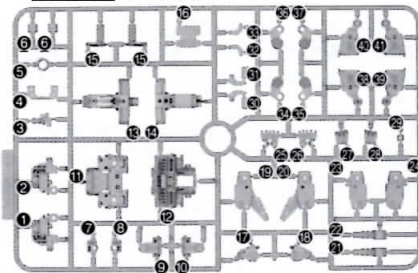
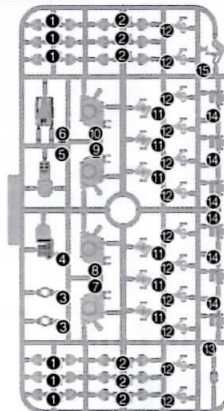
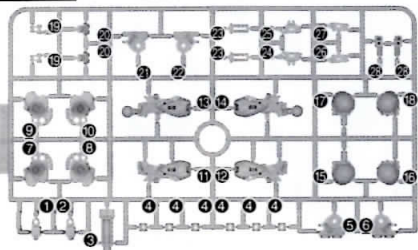
●この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
●小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
●誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
●ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
●小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

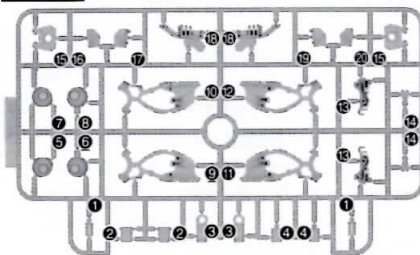
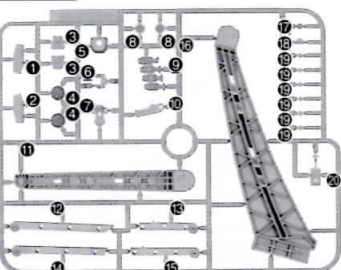
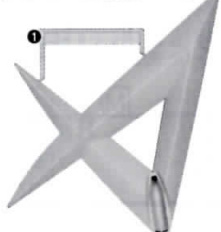
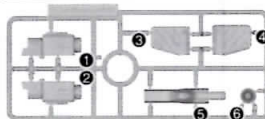
〈組み立てる時の注意〉
●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
●部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところ
・シールの番号
・デカールの番号
・反対側に取り付けるパーツ
・両側に同じパーツを取り付ける
・向きに注意して取り付ける
・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ
・部品を数値の個数作ります
・先に組み立てます
・後に組み立てます
・数値に合わせて回転させます
・どちらかを選んで取り付ける
・反対側も同じように動かします

パーツリスト（✕印は使用しないパーツです。）

Aパーツ（スチロール樹脂：PS）

Bパーツ（スチロール樹脂：PS）

Cパーツ（スチロール樹脂：PS）

Dパーツ（スチロール樹脂：PS）

Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

Fパーツ（スチロール樹脂：PS）

Gパーツ（スチロール樹脂：PS）

Hパーツ（スチロール樹脂：PS）

I1パーツ（ポリエチレン樹脂：PE）

J1パーツ (スチロール樹脂：PS)

J2パーツ (スチロール樹脂：PS)

Kパーツ (スチロール樹脂：PS)

Lパーツ (ABS樹脂：ABS)

Mパーツ (ABS樹脂：ABS)

Nパーツ (ABS樹脂：ABS)

Oパーツ (ABS樹脂：ABS)

Pパーツ (スチロール樹脂：PS)

Qパーツ (スチロール樹脂：PS)

Rパーツ (スチロール樹脂：PS)

カラーシール……………………1枚
マーキングシール………………1枚
ガンダムデカール………………1枚
軟質クリア棒……………………6本
(スチロール樹脂：PS)
エフェクトパーツ………………1枚
(PET樹脂：PET)

SB1パーツ (スチロール樹脂：PS)

SB6パーツ (スチロール樹脂：PS)

〈エフェクトパーツについて〉

※シートは製法上多少反っています。エフェクトパーツが多少反った場合でも、問題なくご使用いただけます。

《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させて頂きます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月〜金曜日
(祝日を除く) 10時〜16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	C❶・C⓫・H⓱・K❶・P⓰パーツ	J2パーツ	Qパーツ	エフェクトパーツ	デカール類	その他
部品代	150円	各100円	各80円	150円	600円	各40円	各40円
郵送料	200円	140円	120円	200円	140円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

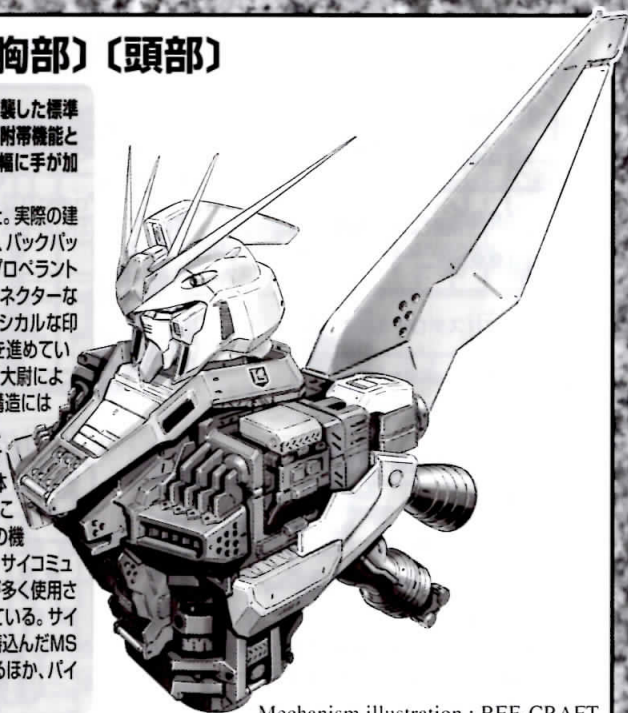
部品注文カード 0148832
1/100SCALE MGシリーズ
Hi-ニューガンダム
必要な部品の記号·番号·数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした·なくした)
·日中ご連絡可能な電話番号 ·年齢
(- -) (才)
R2000741 '07.02

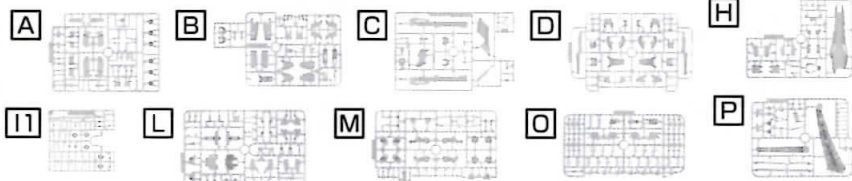
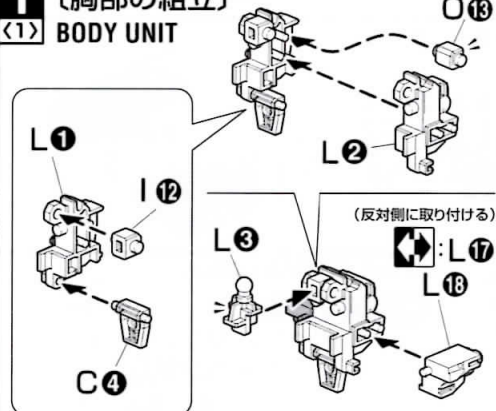
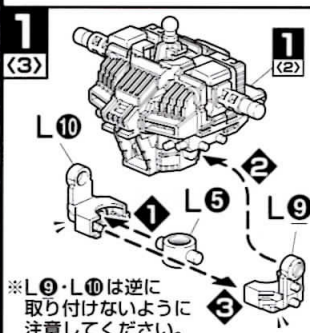
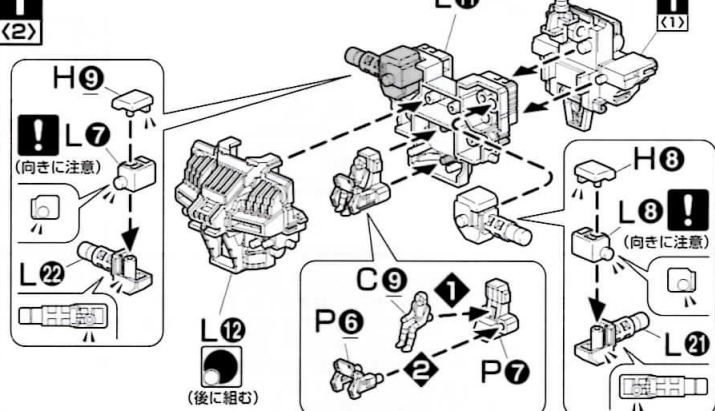
2007.02/T・ON
※コピー使用可

BODY & HEAD UNIT〔胸部〕〔頭部〕

RX-93-ν2 Hi-νガンダムのボディユニットは、RX-78ガンダムの基本構造を踏襲した標準的な機体となる予定で試作されていたものである。それに、サイコミュデバイスなどの附帯機能と装甲材の強化などを行っている。ただし、バックパック周辺には、当初の計画案から大幅に手が加えられている。

Hi-νガンダムの素体となった機体の設計は、後の量産化も可能なよう配慮されていた。実際の建造に際しては、サイコミュ・デバイスを搭載するための余剰スペースも確保され、それは、バックパックの設計変更やスタビレーター、ファンネル・ハンガーの増設などにも寄与しており、プロペラントやエネルギー供給経路の取り回しを容易にしている。その際、プロペラント・タンクのコネクターなどには、信頼性の高い一世代前の部材が意図的に採用されており、部分的にある種クラシカルな印象を機体に与えている。"RX-93"という制式番号は、かねてより連邦軍とAEが開発を進めていた次世代試作機の仮称コードとして使われていたものだが、建造の途上でアムロ・レイ大尉による独自の設計案が盛り込まれたため、末尾に"-ν2"が付加されることとなった。基礎構造にはZ系の機体構造も部分的に採用されており、ニュータイプ専用機への仕様変更に伴って、センサー類などはAEが独自に開発したバイオ・センサーやインコムデバイスのスピンオフ技術なども援用されることとなった。そのため、Hi-νガンダムは事実上ワンオフの機体となっている。当初、ロンド・ベル隊単独の財政規模では、新規の機体開発費を捻出することはほどんど不可能だったが、ブライト・ノア大佐の参画に伴う権限の拡大によって、この機体の調達が可能となった。無論、シャアの蜂起に伴う情勢の変化が大きな要因でもある。サイコミュ関連装備を除く部材のほとんどは、軍の規格品かそれに準じた調達容易な資材や試料が多く使用されていたため、鹵獲機から摘出されたサイコ・フレームの移植も容易であったといわれている。サイコ・フレームは、サイコミュの機能を持つコンピューター・チップを金属粒子のレベルで鋳込んだMS用の構造材であり、ファンネルなどのオールレンジ兵器のレスポンスをより先鋭化させるほか、パイロットの意思に対し、よりアグレッシブなバイアスをかける傾向があると言われている。

Mechanism illustration : BEE-CRAFT

1 BODY UNIT

・組立1で使用するパーツ

A B C D H

I1 L M O P

・カラーシール

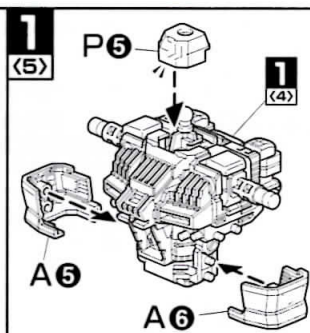
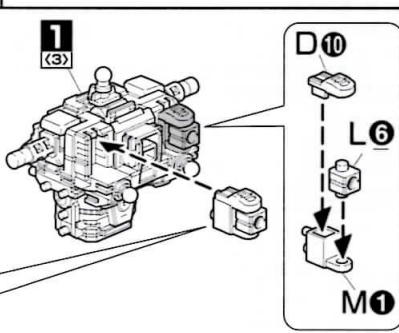
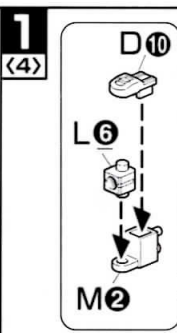
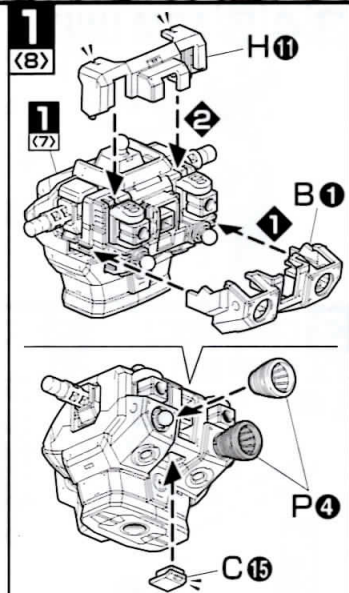
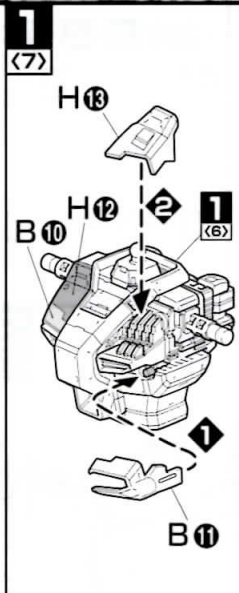
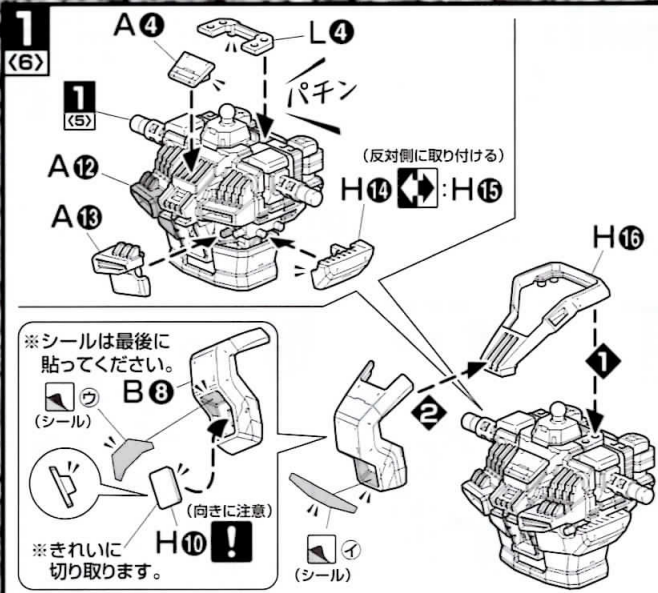
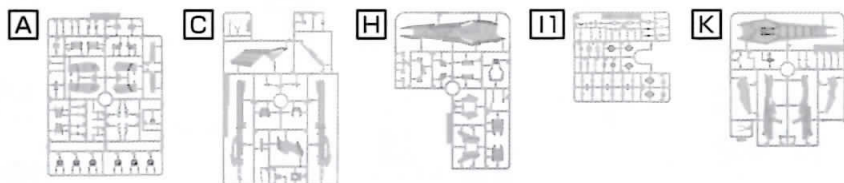
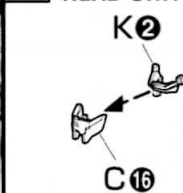
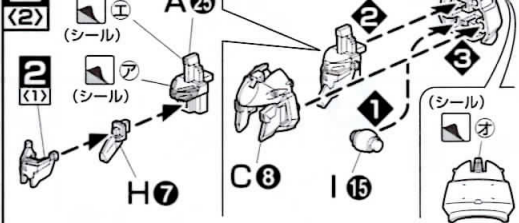
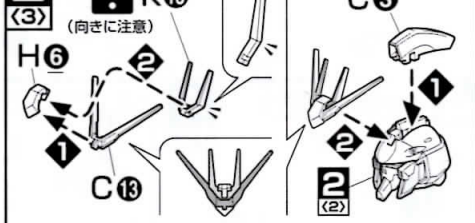
1〈1〉〔胸部の組立〕 BODY UNIT

1〈2〉

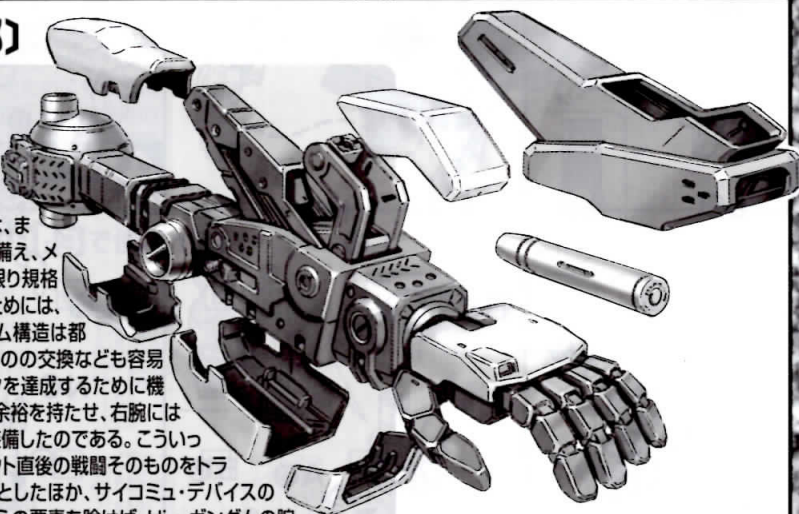
1〈3〉

※L⑨・L⑩は逆に取り付けないように注意してください。

1〈4〉

1〈5〉

ARM UNIT〔腕部〕

Hi-νガンダムの腕部は、他のMSと基本構造が同一のムーバブル・フレームが使用されている。ただし、後の機能増加や改造が容易なように、消耗品以外の部材、ケーブルなどは、標準的な規格品を超える選りすぐりが供給されている。

Hi-νガンダムの設計に際しアムロが心掛けたのは、まず信頼性と耐久性が高く、戦闘が長期化した場合に備え、メンテナンスやアップデートが容易なように、可能な限り規格品を使用し、各部をユニット化することであった。そのためには、グリプス戦争以来の実績を持つムーバブル・フレーム構造は都合が良かったが、アムロはさらに、各デバイスそのものの交換なども容易な改装を施していた。簡単に言えば、必要なスペックを達成するために機体が大型化してしまうことを逆手にとり、内部構造に余裕を持たせ、右腕にはバルカン砲を、左腕には予備のビーム・サーベルを装備したのである。こういった構造上の余裕は各部に採用されており、ロールアウト直後の戦闘そのものをトライアルとして得られたデータのフィードバックを可能としたほか、サイコミュ・デバイスのサイコ・フレームとの置換えにも有利に働いた。それらの要素を除けば、Hi-νガンダムの腕部は非常にベーシックなもので、稼働も安定しており、万一、敵MSとのマニピュレータによる打突戦を経過した後でも、その機能には全く支障がないと言われるほどの信頼性を獲得している。

345 ARM UNIT
・組立3・4・5で使用するパーツ
A
B
D
H
I1
K
L
N
O
P
3 〔右腕の組立〕
〈1〉 RIGHT ARM
L37
(向きに注意)
N3
※きれいに
切り取ります。
L35
L24
P18
P17
3 〈2〉
3 〈1〉
I18
L23
I3
D3
A11
B12
3 〈3〉
P1・P2
(後に組む)
3 〈2〉
H4
H3
3 〈4〉
L28
L26
L30
L33
N14
B18
3 〈5〉
I6
N5
N6
3 〈3〉
3 〈4〉
4 〔左腕の組立〕
〈1〉 LEFT ARM
(向きに注意)
N3
※きれいに
切り取ります。
L36
L34
L20
I18
4 〈2〉
O15
L29
裏返します
4 〈1〉
I3
L19
D3
A11
B12
4 〈3〉
H2
4 〈2〉
H1
B17
4 〈4〉
L25
L27
L31
L32
N14
B19
4 〈5〉
I6
N7
N8
4 〈3〉
4 〈4〉
〔基本説明〕HOW TO
〔部品表〕PARTS LIST
〔胸部〕1 BODY UNIT
〔頭部〕2 HEAD UNIT
〔腕部〕3~6 ARM UNIT
〔脚部〕789 LEG UNIT
〔腰部〕10~11 WAIST UNIT
〔完成〕12 FINAL ASSEMBLE
〔フィン・ファンネル〕13~17 FIN FUNNEL
〔武器〕18~21 WEAPONS
〔ディスプレイスタンド〕22~24 DISPLAY STAND
〔シール〕SEAL

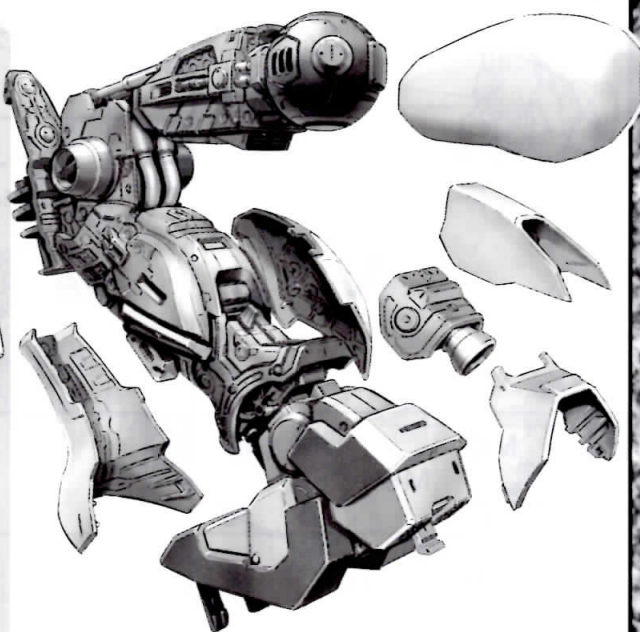
5 〔肩の組立〕 SHOULDER

×2 2個作る

6 〔上半身の完成〕 UPPER BODY

LEG UNIT〔脚部〕

空間戦闘用MSの脚部は、基本的に巨大なベクタードノズルとして機能するが、拠点攻略や防衛、上陸任務や母艦へのランディングなど、歩行脚としての脚部は依然として不可欠な装備となっている。

腕部と同様、Hi-νガンダムの脚部は非常にベーシックな設計が施されており、ふくらはぎ部分の追加バーニアも、RX-78の設計案に盛り込まれていた機構であり、無重量空間のみならず機体の機動性を向上させる。特に、フィン・ファンネルを装備した場合、戦況によっては機体の慣性重心が頻繁に移動してしまうため、複数の高出力スラスターの装備は不可欠であった。無論、フィン・ファンネルは、背部のハンガーに装備されている状態でも自重を相殺するに充分な機動性を持っているが、前線に到達する以前にプロペラントを消費するのは賢明ではない。そのためHi-νガンダムは、二基の追加スラスター装備型のプロペラント・タンクを装備可能としたほか、フィン・ファンネルは3基ずつのシンメトリカルな配置とし、その重心移動に対応したプログラムも独自に開発されている。つまり、フィン・ファンネルの稼働状況に応じて、Hi-νガンダムの脚部は各部に発生するモーメントを制御するためにも非常に重要なユニットとなるのである。そのレスポンスは正に人間並みの反応速度であると言われ、特にサイコ・フレーム実装後は、近接戦闘時に足技を使っての蹴撃も可能だと言われている。

7 8 9 LEG UNIT

・組立7・8・9で使用するパーツ

A
B
D
I1
J1
K
L
M
N
O
P

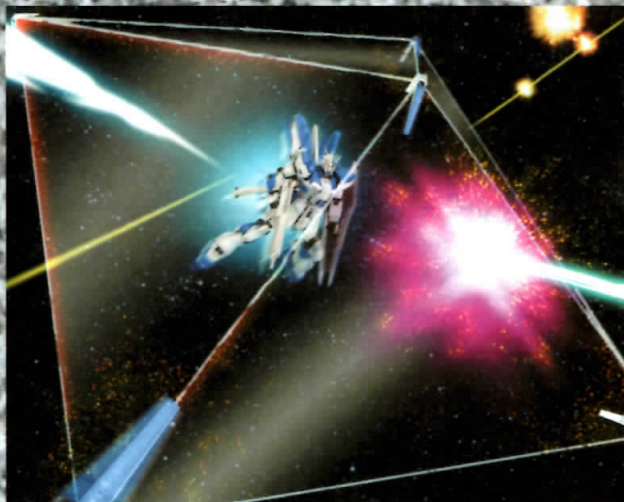
7 〔脚部の組立〕
〈1〉 LEG UNIT
N❶
O❿
I⓱
O❾
M㉒
M❻
N❶
O❼
O❽
I⓱
M㉑
M❺
7 ×2
〈2〉 2個作る
J❶
A⓲
D❻
J❹
7 ×2
〈3〉 2個作る
J❻
(後に組む)
A⓳
A⑳
J❺
※A⓳は、ピンを切り取らないように注意してください。
7 ×2
〈4〉 2個作る
D⓯
8 〔右脚の組立〕
〈1〉 RIGHT LEG
M⓯
M⓰
O❸
(向きに注意)
8
〈2〉
I❺
L㊵
N❷
L㊳
M㉓
(向きに注意)
8
〈3〉
M❿
M⑳
N⓲
M❽
(後に組む)
8
〈4〉
M㉔
M㉖
M⓳
I⓲
M⓬
M⓮
I⓲
N❹
8
〈5〉
N❾
K❺
N⓫
B㉒
B⑳
J❷
J❸
A㉓
:A㉔
(反対側に取り付ける)
〔シール〕SEAL
〔ディスプレイスタンド〕22~24 DISPLAY STAND
〔武器〕18~21 WEAPONS
〔フィン・ファンネル〕13~17 FIN FUNNEL
〔完成〕12 FINAL ASSEMBLE
〔腰部〕10~11 WAIST UNIT
〔脚部〕789 LEG UNIT
〔腕部〕3~6 ARM UNIT
〔頭部〕2 HEAD UNIT
〔胸部〕1 BODY UNIT
〔部品表〕PARTS LIST
〔基本説明〕HOW TO

8 〈6〉
N⑳
I❼
N⑲
I❼
D❽
P❽
8 〈5〉 を裏返したもの
D⑭
D⑯
D⑬
8 〈7〉
A⑰
8 〈6〉
D❹
A❸
D❼
7
9 〔左脚の組立〕
〈1〉 LEFT LEG
M⑰
O❸
(向きに注意)
M⑱
9 〈2〉
I❺
L㊶
L㊴
N❷
M㉓
(向きに注意)
9 〈3〉
M⑳
M❾
N⑱
9 〈2〉
M❼
(後に組む)
9 〈4〉
M⑬
I⑱
N❹
M⑪
M㉕
M㉗
I⑱
M⑲
9 〈5〉
9 〈3〉
K❺
N⑩
N⑫
9 〈4〉
9 〈1〉
B㉓
B㉑
J❸
J❷
A㉑ : A㉒
(反対側に取り付ける)
9 〈6〉
I❼
N⑯
N⑰
I❼
D❽
P❽
〔基本説明〕 HOW TO
〔部品表〕 PARTS LIST
〔胸部〕 1 BODY UNIT
〔頭部〕 2 HEAD UNIT
〔腕部〕 3~6 ARM UNIT
〔脚部〕 7 8 9 LEG UNIT
〔腰部〕 10~11 WAIST UNIT
〔完成〕 12 FINAL ASSEMBLE
〔フィン・ファンネル〕 13~17 FIN FUNNEL
〔武器〕 18~21 WEAPONS
〔ディスプレイスタンド〕 22~24 DISPLAY STAND
〔シール〕 SEAL

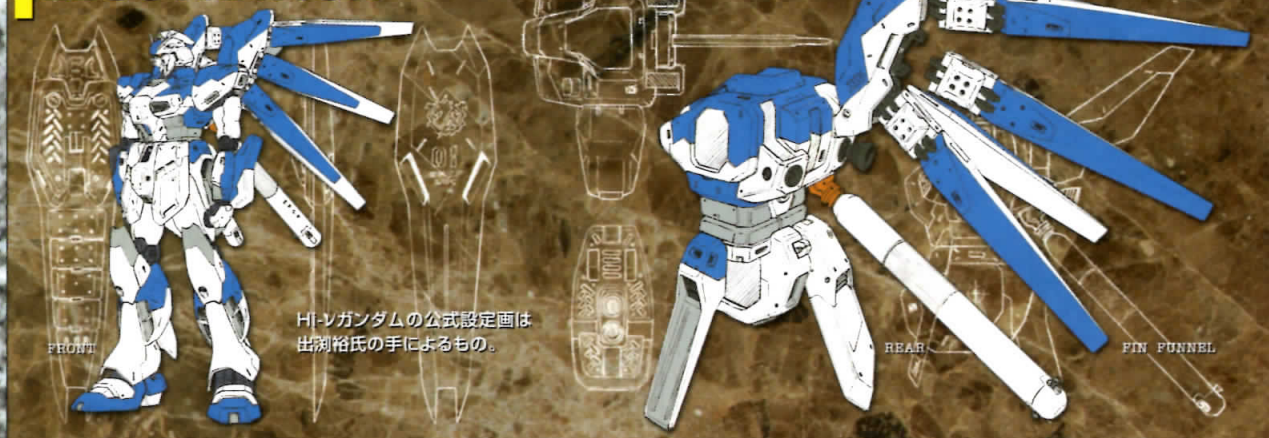
GRANADA VS VON BRAWN

「ファンネルも持ってきてくれたのか」「まだテストもしていませんよ」ベース・ジャバーと共にラー・カイラムを訪れたAE(アナハイム・エレクトロニクス)社のオクトバーが、ベルトーチカの強引さと事情を説明した。「νガンダムはここに固定してくれ」アムロに従うアストナージからサイコ・ドーガのことを聞いたオクトバーはギョッとして言った。「あるんですか?」「AEで建造したんだろ?」オクトバーは、月の裏側のグラナダと表側のフォン・ブラウンは、事実上全くの別会社なのだと弁解しつつ、強く興味を引かれたようで、さっそく機体とサイコミュの解析を始めた。その様子を見たアムロは、心強い味方が来たものだと安心した。かくしてνガンダムは、間を置かずしてオクトバーとアムロの手によって改装されることとなる。

PYRAMID OF LIGHT

アクシズの落下を食い止めるべく、アムロはラー・カイラムと直結したハイパー・メガ・バズーカ・ランチャーでアクシズの核パルスエンジンを狙撃しようとする。一方、グラーブ・ガスのサイコ・ドーガとクェス・パラヤのα・アジールが、そうはさせじと追いすがる。「クェスならやめろっ!」「そんなんで大佐を困らせないでよっ!」クェスの意思を感知したアムロは、5基のフィン・ファンネルの動きを収斂させて、拡散したビームを互いに干渉させた。アムロのファンネルの挙動にバカにされたと感じたクェスは、頭部メガ粒子砲でなぎ払うように宇宙を掃射した。「狂ったかっ!」その瞬間、凶暴な光の奔流が νガンダムを捕らえたかのように見えた。しかし、νガンダムは、四方に粒子を拡散させるピラミッド状の光の幕の中にいた。「いやーっ!!」νガンダムがなぜ無傷なのか理解できず、クェスは飽和した。

Ah...!? Am I looking at the world!?

ふたつに割れたアクシズの前方の巨大な破片は核爆発でかなり削りとられていた。そこにνガンダムは回り込んだ。「減速させるか、方向転換させる。お前も手伝えっ!」アムロは、説教するように言うと、シャアの乗ったナイチンゲールの脱出カプセルをアクシズの表面に叩き付けるようにした。「ウワッ……!」すでにカプセルの緊急ハッチなどは作動しなかった。シャアは必死でシートにしがみつくだけだ。「……いや、違うな。今、計算してみた。後の方が地球に落ちるっ!」すると、νガンダムのテール・ノズルが、オーバーロードするように全開した。「アムロッ!何をするのだっ!」「確信が持てるまでは何でもやる!それが戦争で宇宙を汚した我々の仕事だっ!」アムロは絶叫した。νガンダムを中心にした白色の光に地球から発した光が吸い込まれて行く。「ああ…な、なんだっ!?ぼくは、世界を見ているのか…!?」

ILLUSTRATION Hi-ニューガンダムのオフィシャル設定公開!!

Hi-νガンダムの公式設定画は出渕裕氏の手によるもの。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。　※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

Hi-ニューガンダム

- 本体等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)＋ネービーブルー(少量)
- 胸等ブルー部の塗装色。コバルトブルー(55%)＋ホワイト(35%)＋インディブルー(10%)
- 腹部等シルバー部の塗装色。シルバー(100%)
- 後頭部センサーイエローグリーン部の塗装色。イエローグリーン(100%)
- バーニアノズル等ガンメタ部の塗装色。黒鉄色(75%)＋ブラック(15%)＋シルバー(10%)
- 目 クリアオレンジ部の塗装色。クリアオレンジ(100%)
- 額センサー クリアグリーン部の塗装色。クリアグリーン(100%)

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

アムロ・レイ

- ノーマル・スーツ ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)
- ノーマル・スーツ バイザー オレンジ部の塗装色。オレンジ(100%)
- ノーマル・スーツ、軍服 ブルー部の塗装色。インディブルー(100%)
- ノーマル・スーツ、軍服 レッド部の塗装色。モンザレッド(100%)
- 軍服 イエロー部の塗装色。イエロー(100%)
- 軍服 ホワイト部の塗装色。ホワイト(95%)＋ブラック(5%)
- 顔等 はだ色部の塗装色。はだ色(100%)
- 髪 ブラウン部の塗装色。マホガニー(100%)

■ワンポイントステップ

スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカー／スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミゾの所に線を引くことで、見た目の印象が引き締まります。

▲ 翼のように可動するフィン・ファンネル基部、前後、上下に可動範囲を持つ肩部、胴体内の上体を反らせる可動などで、よりダイナミックなアクションポーズの演出が可能。

※この写真は組み込む前の物を塗装しています。

▲ コクピットハッチは首の後ろから大きく開く。中に座るノーマル・スーツ姿と、軍服のアムロ・レイのフィギュアが付属。

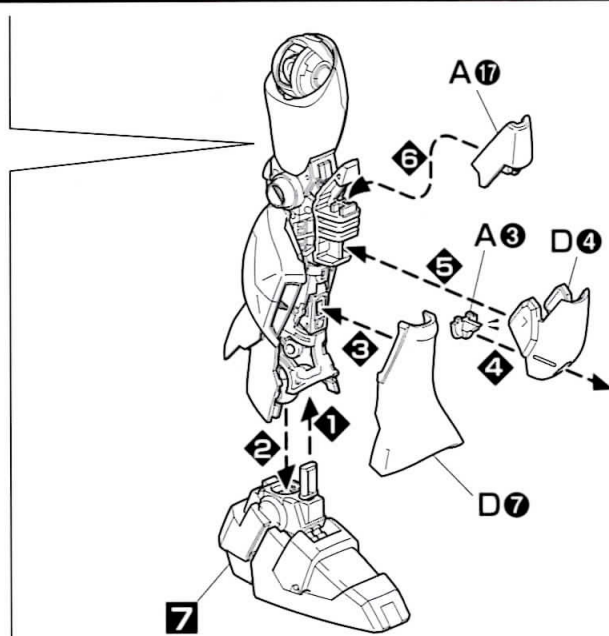
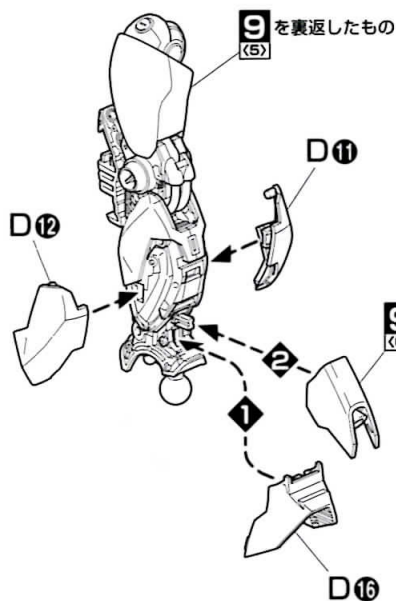
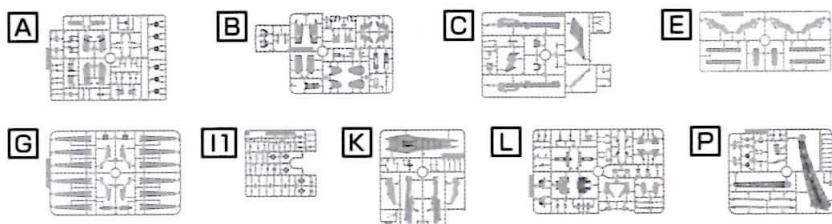
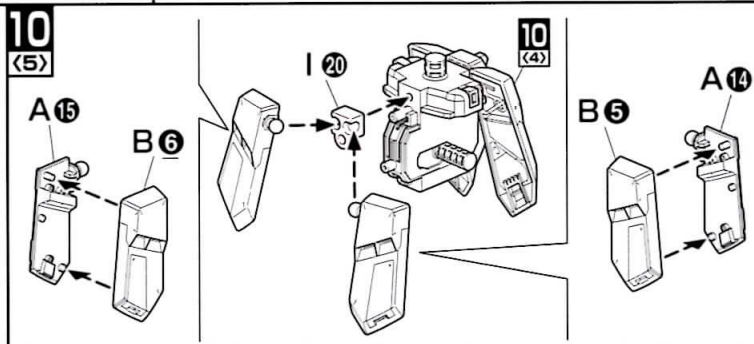
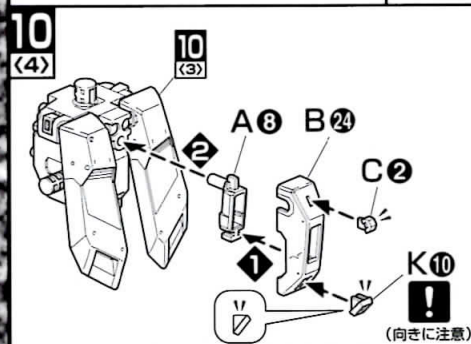
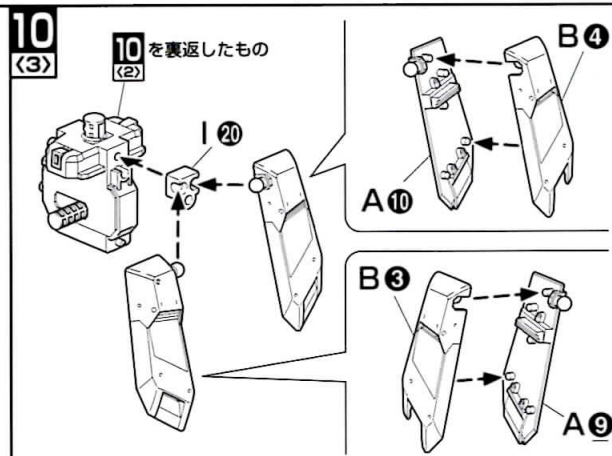
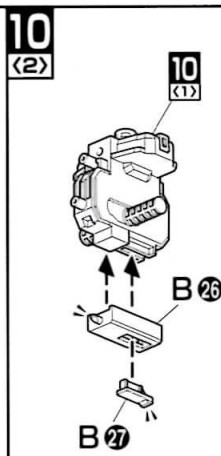
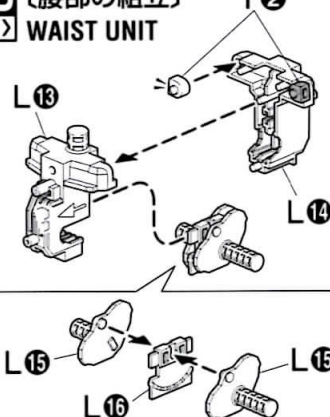
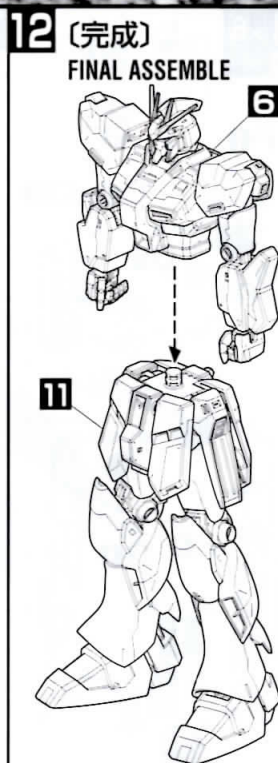
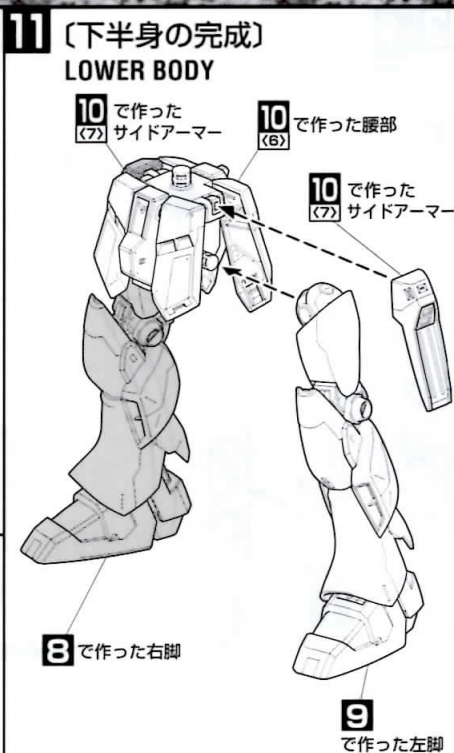
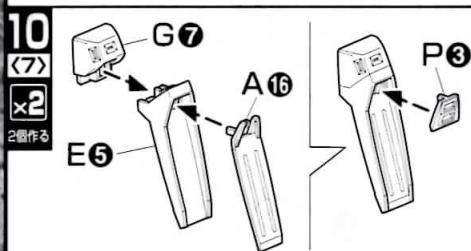
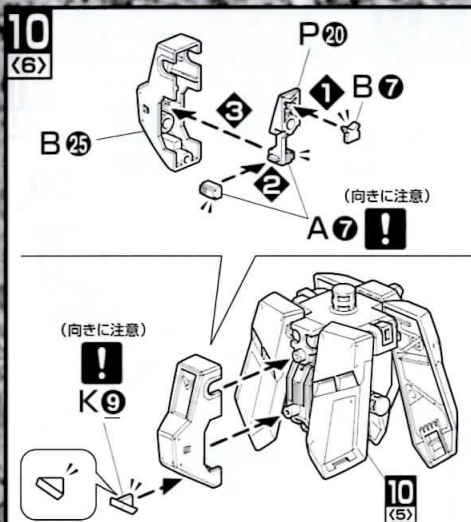
▲ スネ前部装甲は可動式で内部フレームを露出させることで、メカニカルな雰囲気を演出。足首上のスラスター・ブロック、足裏のランディング・ギアは可動式。

●写真の完成品は無塗装です。

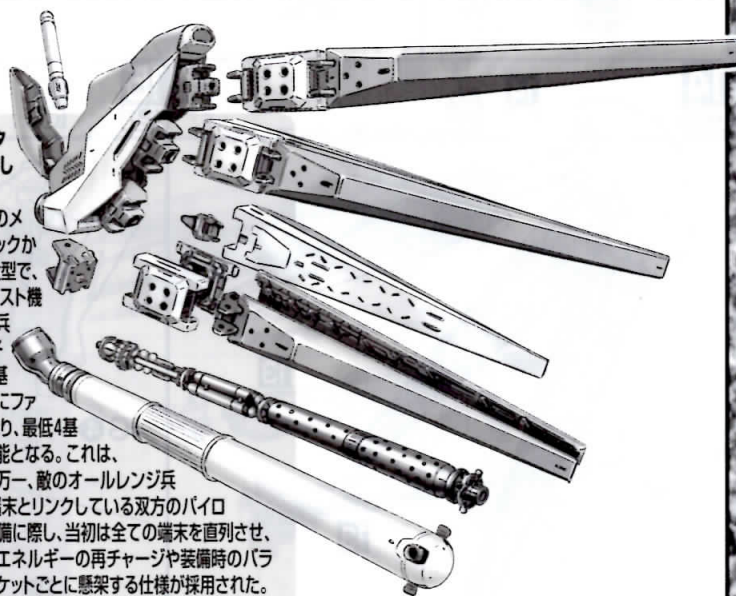
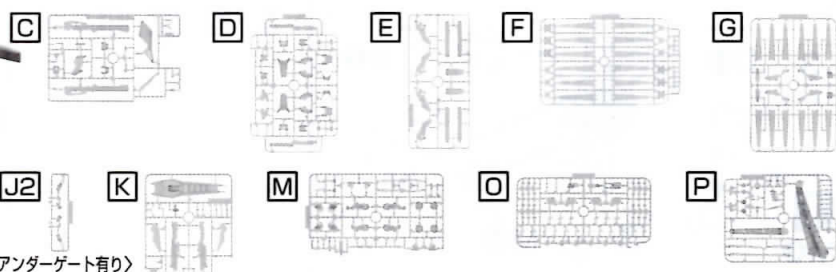
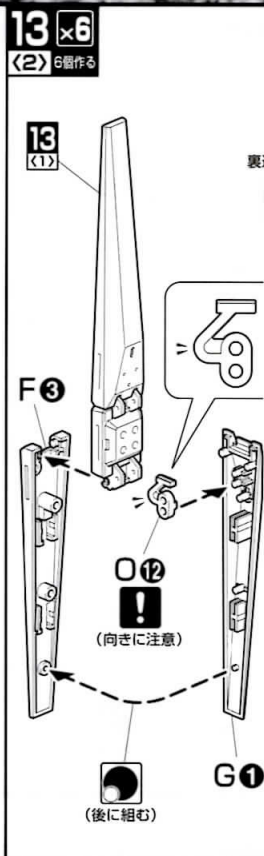
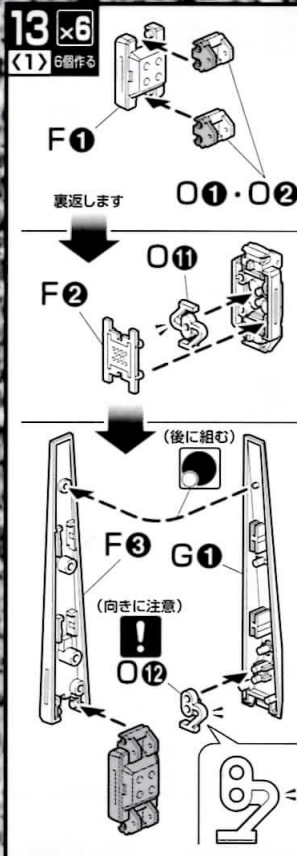
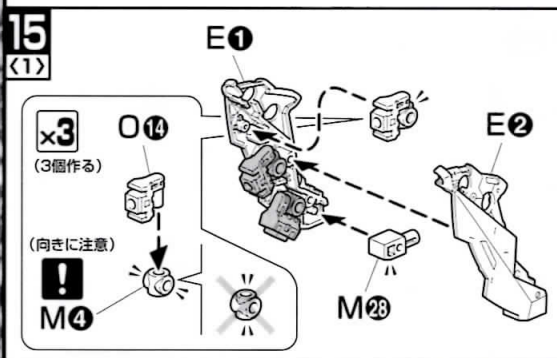
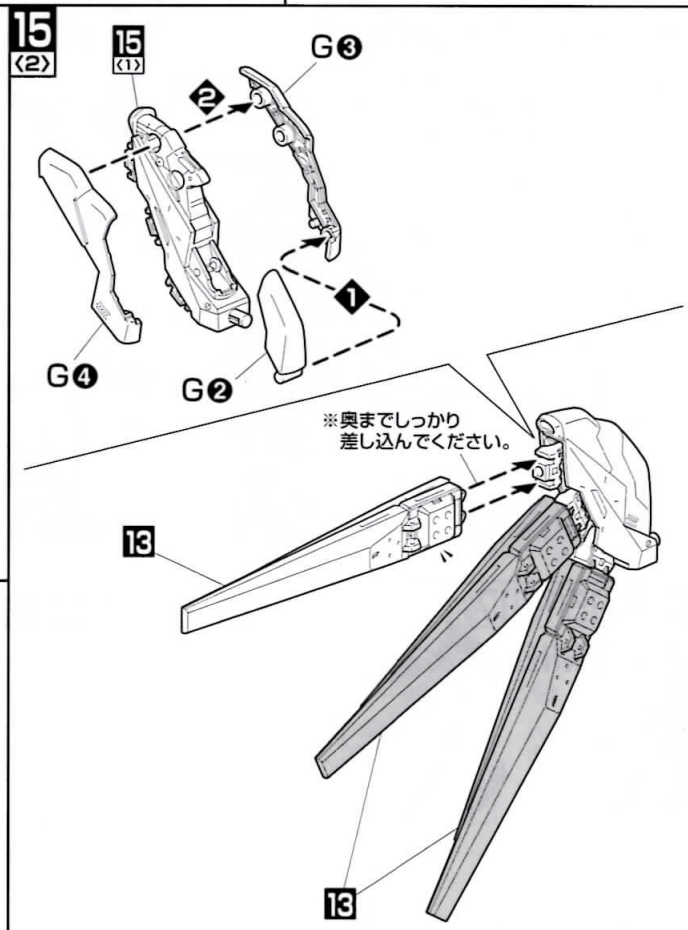
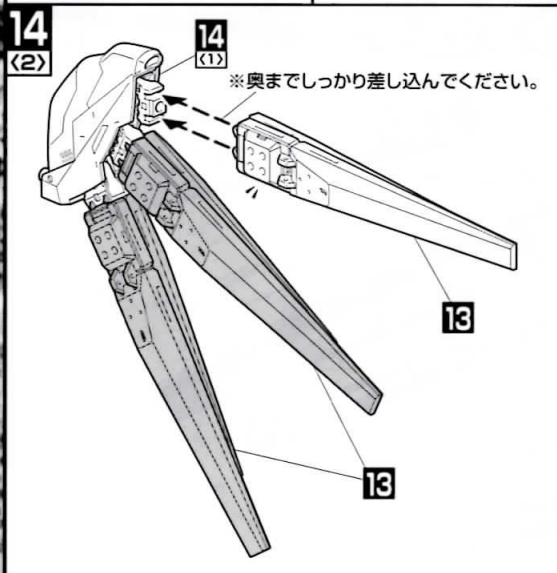
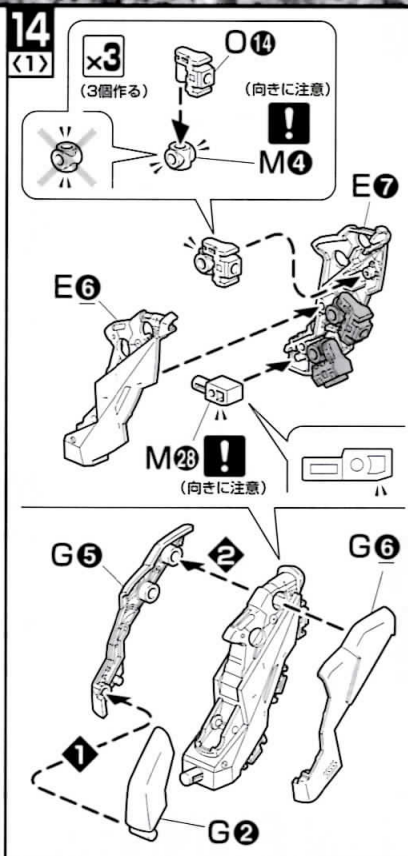
▲ ミクロン単位まで加工できる金型技術で、額の型式番号を繊細なモールドで表現。

●写真の完成品は無塗装です。

●文字を正しく読める面がエフェクトパーツの表側になります。

▲ フィン・ファンネルは新機構のクリック感のある折り畳みで攻撃形態に変形。光を鮮やかにプリントしたビーム・エフェクトを二枚組で使用。ノズルの噴射炎を模したクリアパーツと合わせて攻撃形態を演出。基部にメッキ処理を施したプロペラントタンクを始め、着脱式マガジンのニュー・ハイパー・バズーカ等豊富な武装をセット。

FIN FUNNEL
〔フィン・ファンネル〕

Hi-νガンダムに装備される主兵装"フィン・ファンネル"は、ガンダムタイプ初のオールレンジ兵器であり、MSが単体として携行できる武装としても屈指の威力を持つ攻防一体の武装である。

RX-93-ν2 Hi-νガンダムの装備するフィン・ファンネルは、開放型のメガ粒子加速帯と小型のジェネレーターを内蔵し、それ自体が三つのブロックからなるAMBACユニットそのものでもある。オールレンジ兵器としては大型で、機体に匹敵する全長をもつが、その機動性や稼働効率、実働時間は、スラスト機動のみに頼る通常型のビットやファンネルをはるかに上回る。さらにこの兵器の特徴は、ビーム・バリアの展開が任意に可能なことである。メガ粒子の縮退に必要なシステムはIフィールドジェネレーターと同じ基本原理に基づいているため、開放型にしたことで転用が可能となったのである。さらにファンネルの配置によってバリアの有効面を任意に変更することも可能であり、最低4基のファンネルを配置すれば、機体を正四面体で完璧に防御することも可能となる。これは、端的に言ってビーム兵器に対しては死角が存在しないことを意味する。万一、敵のオールレンジ兵器がこのフィールド内に干渉した場合、サイコ・ウェーブが還流し、その端末とリンクしている双方のパイロットは生理的なダメージを被ることになるという。フィン・ファンネルの装備に際し、当初は全ての端末を直列させ、一基のターレットにパネルやマントのように装備する案などもあったが、エネルギーの再チャージや装備時のバランスなどから、二基のファンネルハンガーに折り畳んだ状態で3基ずつソケットごとに懸架する仕様が採用された。

※J⑧・J⑨は、３ページの基本説明を参考にキレイに切り取ってください。

16 〈1〉

J❼・J❽

E❹

E❸

P⑲ P⑲

D❾

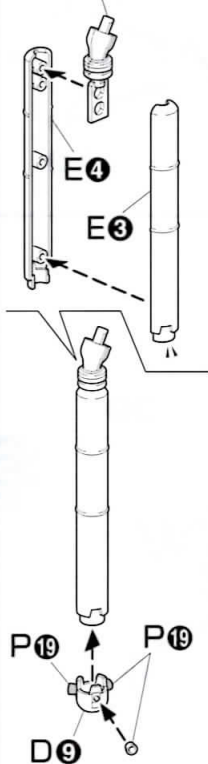
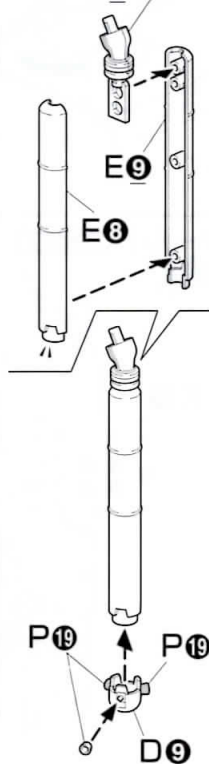
16 〈2〉

J❾・J❿

E❾

E❽

P⑲ P⑲

D❾

17

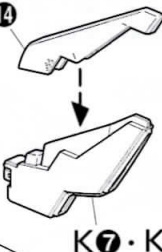
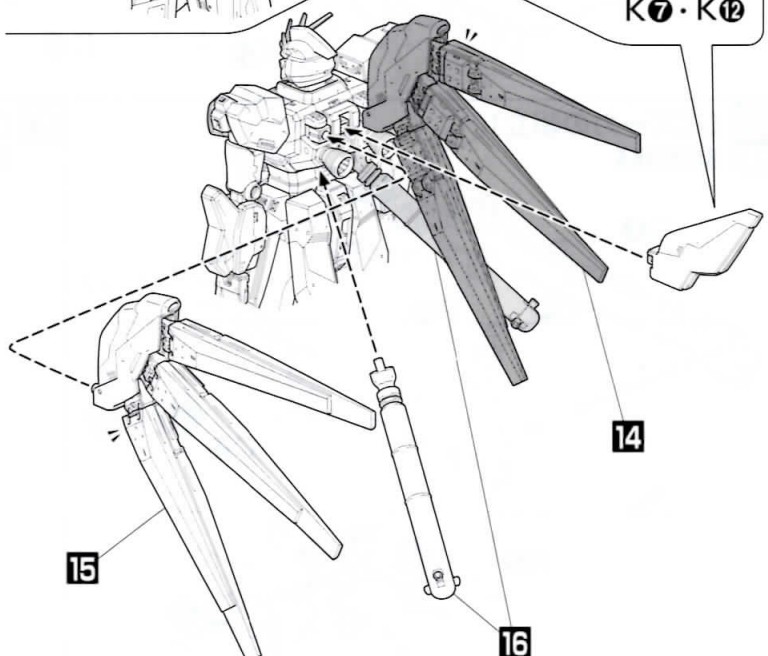
※コクピットハッチを開くことができます。

C⓮

K❼・K⓬

14

15

16

WEAPONS〔武 器〕

Hi-νガンダムに施された武装は、そのほとんどが専用の物ではあるが、部材や弾頭などはほとんどが規格品である。逆に言えば、Hi-ニューガンダム自体が急造のMSであったことを考えれば、破格の充実ぶりであると言うこともできる。

ビーム・ライフル

ビームを圧縮して間欠的に射出することができ、マシンガン的な使用も可能。最大出力では同時期の戦艦クラスの主砲に匹敵する威力を持つ。

ニュー・ハイパー・バズーカ

連邦軍の代表的なMS用兵器。同等品をHi-νガンダムに合わせて仕様変更したもの。無論、射程や弾頭の破壊力は改善されている。口径は280mm。

ビーム・サーベル

2種類のビーム・エミッターを内蔵し、ユニットの前後でビーム刃を生成可能なカスタムタイプのサーベル。左右のファンネルラックに1基ずつ、左腕には標準的な規格品を予備として装備している。

シールド

ビーム・ガン用のジェネレーターを内蔵する防御装備。デバイスそのものの出力は一年戦争時のビーム・ライフルに匹敵する。

18 19 20 21 WEAPONS

・組立 18・19・20・21 で使用するパーツ

B

C

D

H

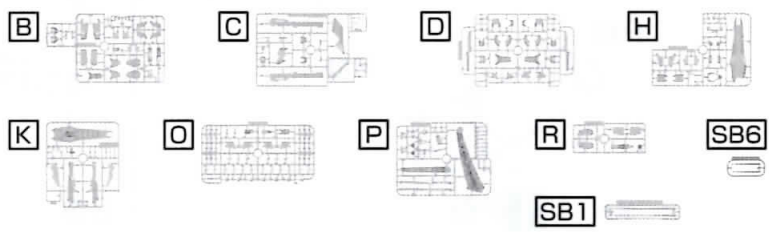
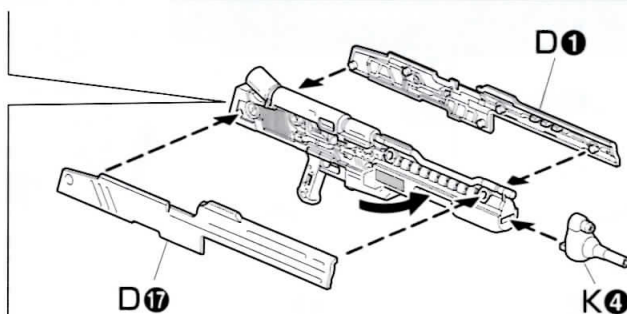
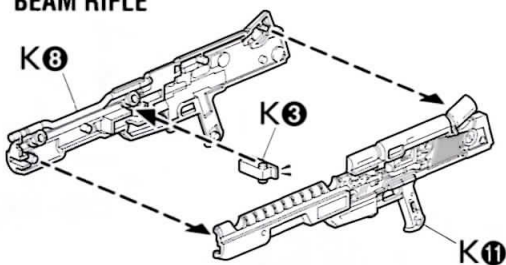
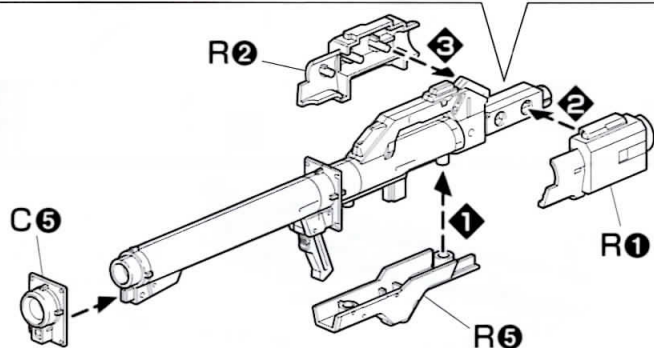
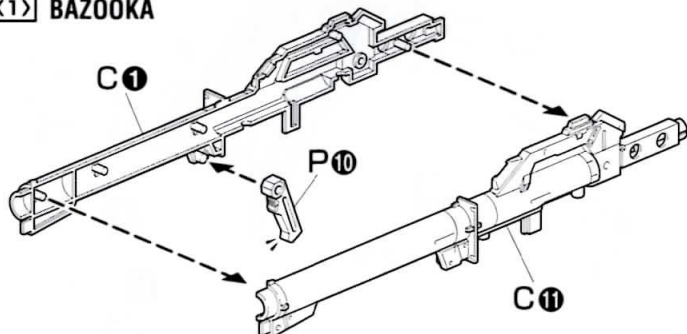
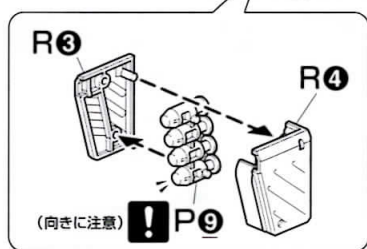
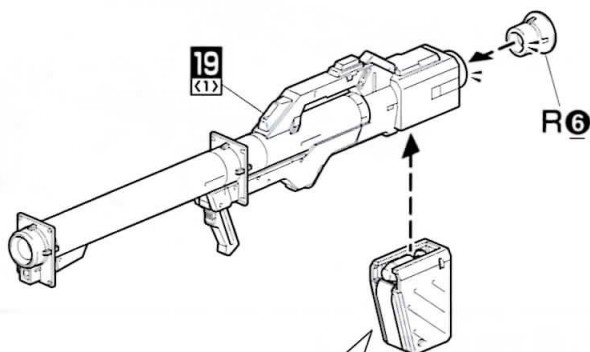
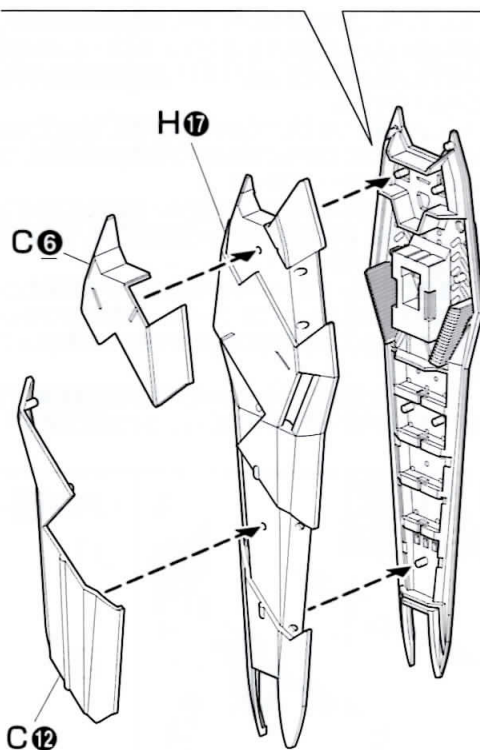
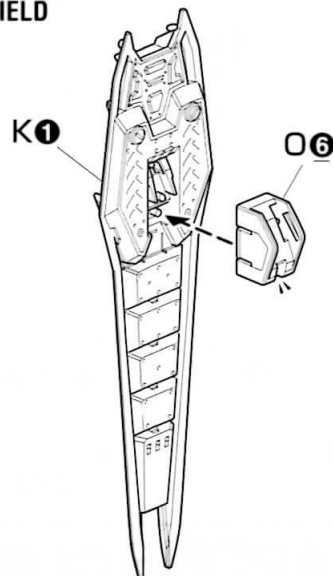
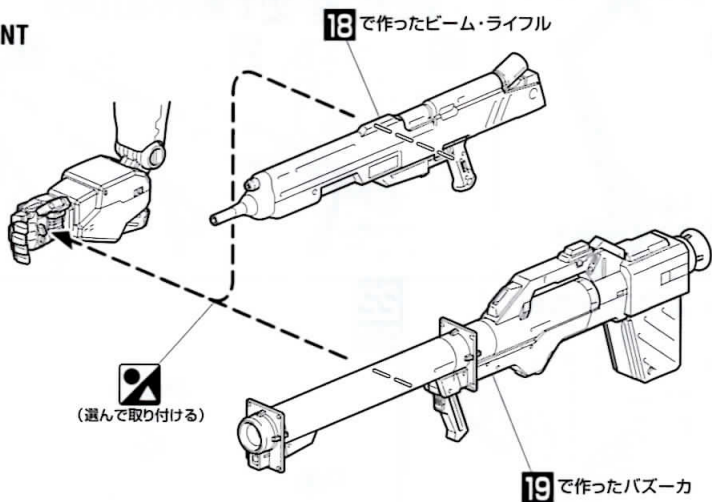
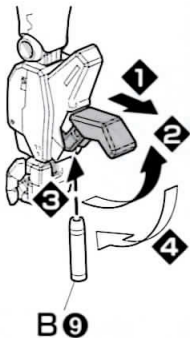
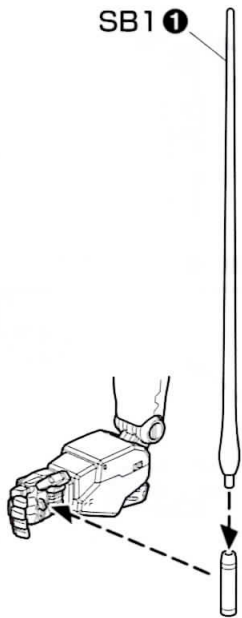
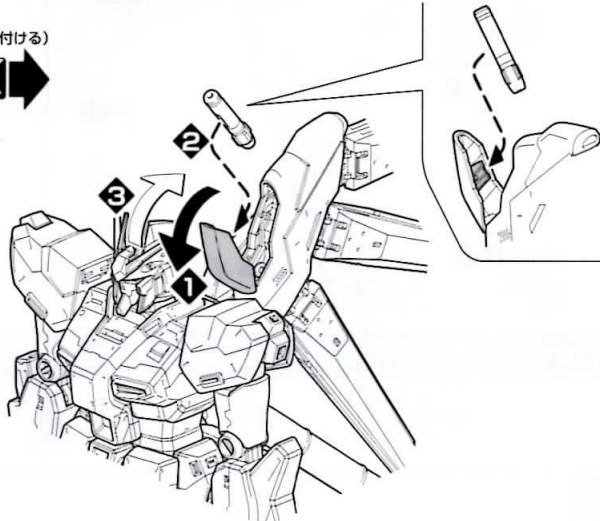
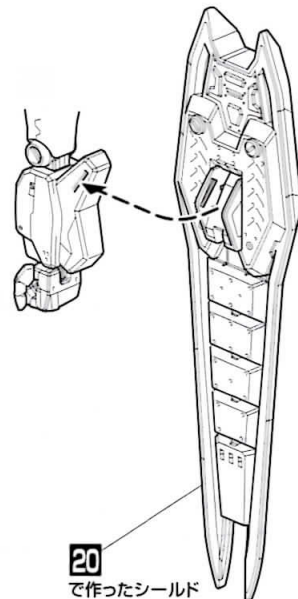
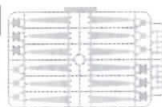
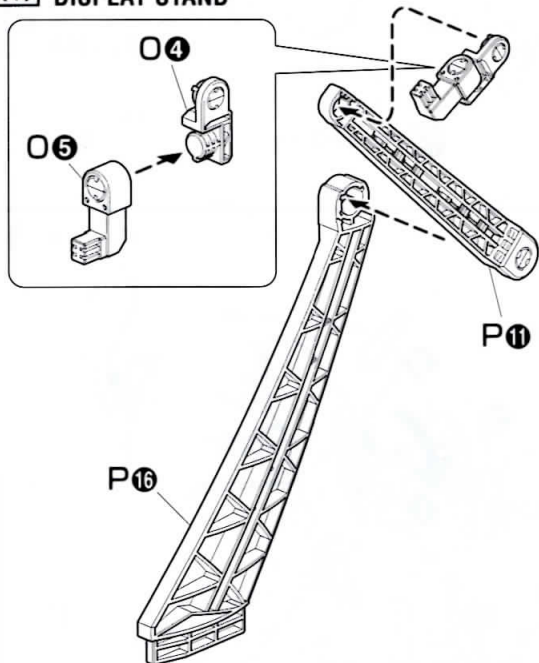
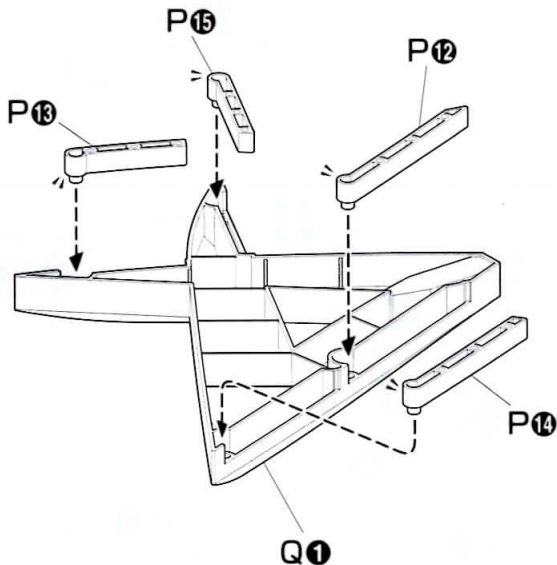
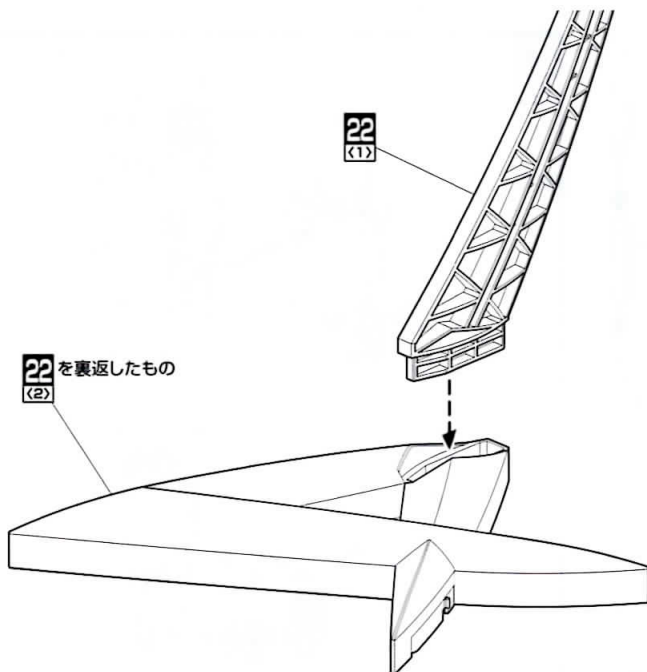
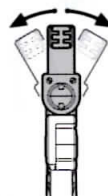
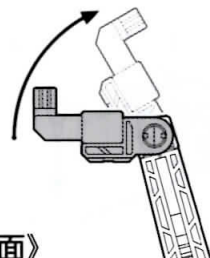
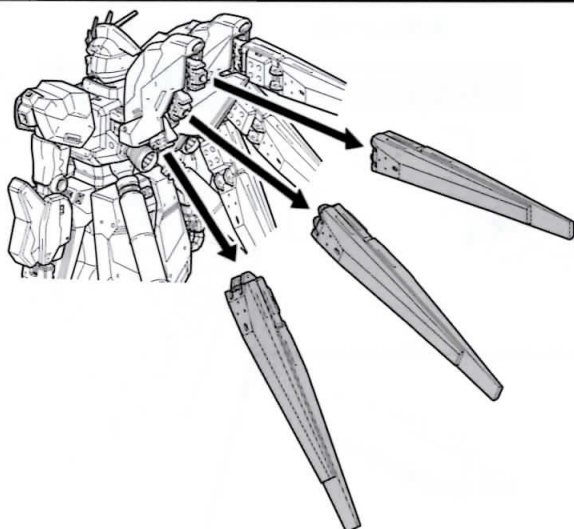
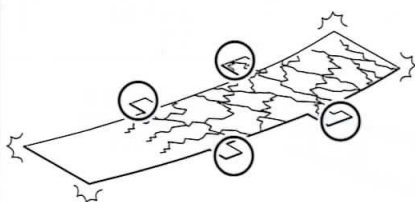
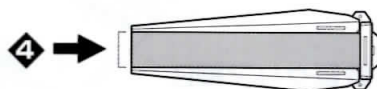
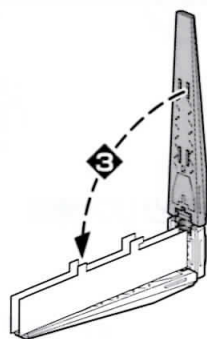
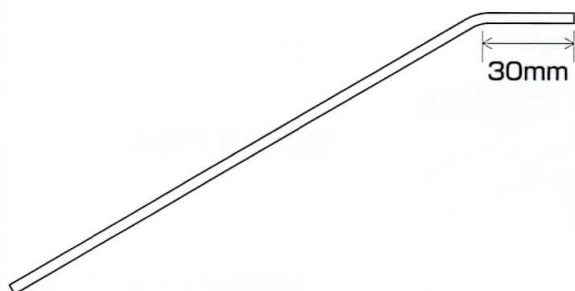
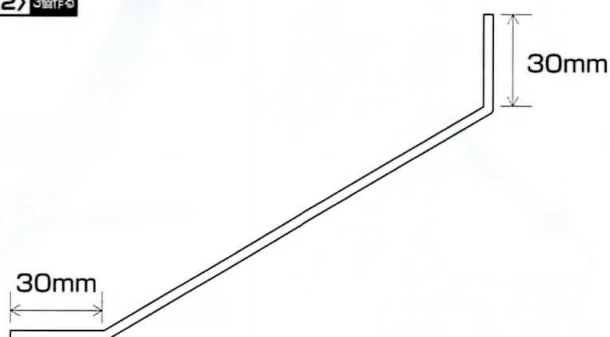
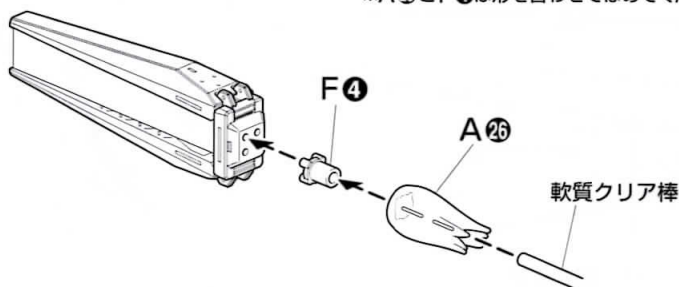
K

O

P

R

SB6

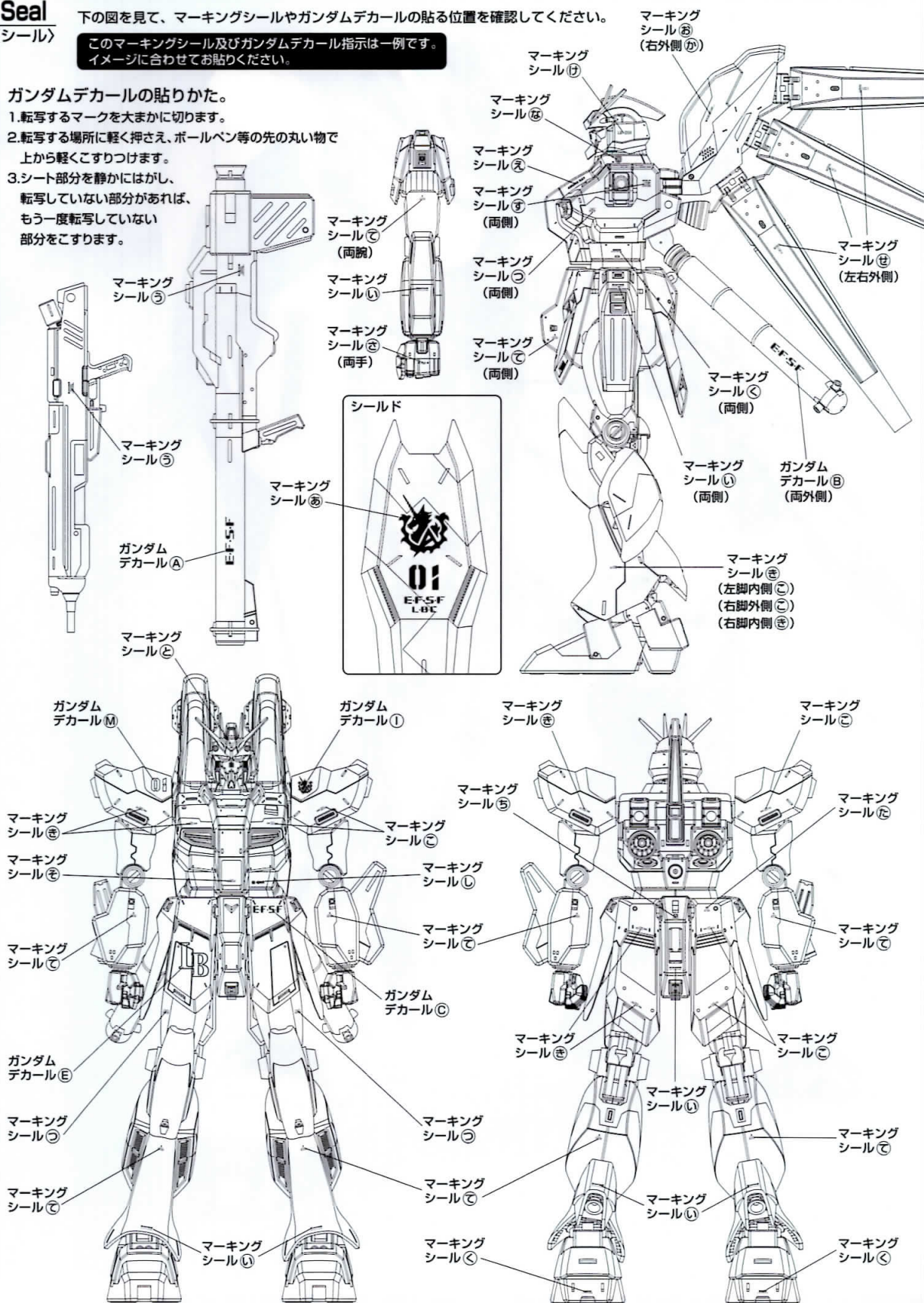
SB1

18 〔ビーム・ライフルの組立〕
BEAM RIFLE

19〈1〉〔バズーカの組立〕
BAZOOKA

19〈2〉

20 〔シールドの組立〕
SHIELD

21 〔武器の装備〕
〈1〉 WEAPONS EQUIPMENT
（両腕に取り付けられます）
18 で作ったビーム・ライフル
（選んで取り付ける）
19 で作ったバズーカ
21 〈2〉
B⑨
（選んで取り付ける）
SB1 ❶
（両腕に持たせられます）
（選んで取り付ける）
SB1 ❶
B❷
SB6 ❶
21 〈3〉
20 で作ったシールド
〔基本説明〕 HOW TO
〔部品表〕 PARTS LIST
〔胸部〕1 BODY UNIT
〔頭部〕2 HEAD UNIT
〔腕部〕3～6 ARM UNIT
〔脚部〕7 8 9 LEG UNIT
〔腰部〕10～11 WAIST UNIT
〔完成〕12 FINAL ASSEMBLE
〔フィン・ファンネル〕13～17 FIN FUNNEL
〔武器〕18～21 WEAPONS
〔ディスプレイスタンド〕22～24 DISPLAY STAND
〔シール〕 SEAL

22 23 24
DISPLAY STAND
・組立22・23・24で使用するパーツ
A
F
M
O
P
Q
・軟質クリア棒
・エフェクトパーツ
22 〈1〉〔ディスプレイ・スタンドの組立〕
DISPLAY STAND
O❹
O❺
P⓫
P⓰
22 〈2〉
P⓯
P⓬
P⓭
P⓮
Q❶
22 〈3〉
22 〈1〉
22 〈2〉を裏返したもの
※台座は図のように
高さや角度が調節できます。
《正面》
※好みの角度に差し替えてください。
《側面》
〔基本説明〕HOW TO
〔部品表〕PARTS LIST
〔胸部〕1 BODY UNIT
〔頭部〕2 HEAD UNIT
〔腕部〕3~6 ARM UNIT
〔脚部〕7 8 9 LEG UNIT
〔腰部〕10~11 WAIST UNIT
〔完成〕12 FINAL ASSEMBLE
〔フィン・ファンネル〕13~17 FIN FUNNEL
〔武器〕18~21 WEAPONS
〔ディスプレイ・スタンド〕22~24 DISPLAY STAND
〔シール〕SEAL

23
※ファンネルは、最初に開いておきます。
エフェクトパーツ
※エフェクトパーツは、ご自由に表裏を付け替えてください。（ツヤのある方が表面です。）
〈エフェクトパーツの取り扱いの注意点〉
●表裏の見分け方は、P13の写真を参考にしてください。
●多少反った場合でも、問題なくご使用になれます。尖った部分には気をつけて組み立ててください。
●シートから抜きにくい場合は、デザインナイフ等で、切ってください。○印の部分は、シートとつながっています。（刃物の取り扱いには十分注意してください。）
※ファンネルをディスプレイスタンドに飾る場合の組み立て。（曲げる際の一例です。下の図のように手で折り曲げてください。）
24 ×3 〈1〉 3個作る 〔軟質クリア棒A〕
30mm
24 ×3 〈2〉 3個作る 〔軟質クリア棒B〕
30mm
30mm
24 ×6 〈3〉 6個作る
※A㉖とF❹は形を合わせてはめてください。
F❹
A㉖
軟質クリア棒
〔基本説明〕HOW TO
〔部品表〕PARTS LIST
〔胸部〕1 BODY UNIT
〔頭部〕2 HEAD UNIT
〔腕部〕3~6 ARM UNIT
〔脚部〕7 8 9 LEG UNIT
〔腰部〕10~11 WAIST UNIT
〔完成〕12 FINAL ASSEMBLE
〔フィン・ファンネル〕13~17 FIN FUNNEL
〔武器〕18~21 WEAPONS
〔ディスプレイスタンド〕22~24 DISPLAY STAND
〔シール〕SEAL
0 1 2 3 4 5

軟質クリア棒
※反対側にも取り付けることができます。
軟質クリア棒
※図のようにミゾに沿って奥までしっかり入れてください。
軟質クリア棒B
軟質クリア棒B
軟質クリア棒B
※軟質クリア棒は好みで長さを調整してください。
軟質クリア棒A
軟質クリア棒A
※本体を取り付けるときは、図のように手で持って差し込んでください。
※C⑩は好みの場所に飾ってください。
※台座の裏に収納することができます。
バックパック用フタパーツ
股関節用フタパーツ
M❸
※M❸を使用することにより、アクションベース（別売り）に取り付けることができます。

Seal
〈シール〉

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

このマーキングシール及びガンダムデカール指示は一例です。
イメージに合わせてお貼りください。

ガンダムデカールの貼りかた。

1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。

MG
Hi-ニューガンダム

◀・・・ キャンペーンを実施する場合があります。
応募する際に使用するのでとっておいてください。

地球連邦軍 ニュータイプ専用モビルスーツ
RX-93-ν2「Hi-ニューガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

RX-93-ν2 Hi-ν GUNDAM

E.F.S.F. AMURO RAY'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT FOR NEW TYPE